
少年 B

emptysky

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少年B

【Nコード】

N4342Z

【作者名】

empty sky

【あらすじ】

主役には慣れない準主役な、何処にでもはいないけど、探せばいるといえる少年神楽カグラ 悠ユウそんな彼がリリカルな世界で頑張るだけの話。

駄文な上にキャラ崩壊、厨二病的な部分がありますが生温かい目で見守っていただけますよう、お願い致します。

Prologue

いつからだろう???

幼いながらに、テレビの世界のようなヒーローになりたいという思いを、自然と諦め始めたのは。

いつからだろう???

守りたい。いつ決めたのかすら分からない未熟な覚悟だけを胸に、足掻き始めたのは。

いつからだろう???

何をどうすれば守れるのか分からず、守りたかったものすら見失っていたのは。

いつからだろう???

それでも、胸に残った思いだけは消えず……叶わぬ理想に、この身を焦がす。

だから……

「我思うは過ぎ去り過去。」
それは幸せな記憶。温かくて、優しくて、甘くて、涙がこぼれるくらいに幸せな記憶。

「我掲げるは約束の思い出。」
それは誓いの記憶。幼くて、弱くて、ともすれば簡単に崩れてしまう。それでも自分の全てを賭けて守ると誓った、約束の思い出。

「我が名が最強である事を証明する。」
それは自らに課せた決意。
叶わぬと知りながらも、求める理想。

「起きろ、ライオンハート。」
獅子のように強き心を。この思いが……この願いが嘘にならまいよ……。

世界は理不尽で不平等で、どうしようもないくらいに、どうしようもない。

俺の友人に言わせれば、こんなはずじゃなかった事ばかり。正しくその通りだ。

それでも、たった一つ・・・たった一つくらいは自分の思う通りになっただっていいだろう???

なんせこっちは、その為に全てを賭けるんだから。

だから・・・

「お前は、俺が倒す。」

Prologue《Reverse》

「ドクター。」
名を呼ばれば、誰もが振り向いてしまう。そんな美しい声があたりに響いた。

「なんだい、ウーノ。」
呼ばれた男はじつと暗がりを眺めている。それは虚数空間と呼ばれ、一度そこに入りこんでしまえば脱出する事は不可能といわれている。

「ここも限界です。そろそろ、脱出の準備を……。」
そこはドクターと呼ばれた男の研究によって、消えようとしていた。それは建物が消えるのではなく、その世界そのものが次元ごと消えるという意味で。

「ああ。」
それでも、男はずっとその絶望の入口から目を離さない。

「ドク「ウーノ」……はい??」
「この穴は何処に繋がっていると思う??」
それは幼い子供が聞くかのような、純粹な疑問。

「二度と出ることがない世界なのですから、何処にも繋がっていないのでは??」

「本当に??」

紡がれる疑問に彼女は答えをもたない。なぜならそこは入れば二度と出ることはない、絶望への入口なのだから。

しばらくの沈黙とともに、男は一つの指輪を穴へと投げ入れた。

「ドクターそれは??」

「インテリジェンスデバイスだよ。暇潰しのつもりが存外造りこんでしまっただね。」

「何故それを??」

「私の変わりに見てもらおうと思ってね。」
「なんとでもないように呟き、男はそれきり興味が失せたとも言うように、踵を返し歩きはじめた。」

「いくよ、ウーノ。」

「はい、ドクター。」
ウーノもそれに続く。後に残されたのは黄昏れの世界。

数刻とたつことなく、世界は終焉を迎えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4342z/>

少年B

2011年12月15日23時53分発行